

35) 石田俊郎, 開 繁義, 山田祐司, 中村泰久: 点眼麻酔下で静脈内に投与した抗生剤 (CTM) の涙液内移行濃度. 第272回金沢眼科集談会, 1985, 7, 金沢.

36) 石田俊郎, 開 繁義, 山田祐司, 中村泰久: 静注した抗生剤 (CTM) の涙液内濃度におよぼす benoxinate 点眼の影響. 第5回眼薬理研究会, 1985, 9, 名古屋.

37) 石田俊郎, 開 繁義, 中村泰久: 静脈内に投与された抗生剤の涙液内出現経路について. 第273回金沢眼科集談会, 1985, 12, 金沢.

38) 大角智寿子, 山田祐司: 末期緑内障に対する Laser trabeculoplasty の経験. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

39) 大角智寿子, 石田俊郎, 山田祐司, 窪田靖夫: 当科における過去6年間の眼内異物の統計. 第4回金沢医科大学眼科研究会, 1985, 11, 金沢.

40) 鍛冶兆宏, 大角智寿子, 田畑 晃: 最近経験した網膜中心動脈閉塞症. 第28回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 9, 富山.

41) 田中良則: 緑内障患者の臨床脳波学的研究. 第51回日本中部眼科学会, 1985, 11, 倉敷.

42) 田中良則, 桶本忠司, 山田成明: 当科緑内障外来における Laser Trabeculoplasty (LTP) の治療成績. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

43) 桶本忠司, 浅香猶子: 保存療法により症状の消失した眼窩底骨折の1例. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

44) 桶本忠司, 大角智寿子, 山田祐司: 角膜移植の統計. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

45) 桶本忠司, 氷見由美子: 当科における外科視の手術成績について. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

46) 尾崎真由美, 中村泰久, 石田俊郎: 富山医科薬科大学眼科5年間の眼窩底骨折について. 第1回福井眼科集談会, 1985, 1, 福井.

47) 尾崎真由美, 中村泰久: 鼻涙管形成不全を伴った先天性外涙囊嚢の1例. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

48) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折の臨床像. 第23回北日本眼科学会, 1985, 7, 札幌.

49) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折の手術適応基準について. 第39回日本臨床眼科学会, 1985, 9, 新潟.

50) 尾崎真由美, 中村泰久: 眼窩壁骨折のCT像. 第51回日本中部眼科学会, 1985, 11, 倉敷.

51) 尾崎真由美, 中村泰久: 4才女兒にみられた視神経炎の1例. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

52) 山田成明, 中村泰久: 手術により症状を固定した Scleromalacia の1例. 第26回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 4, 富山.

53) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久: 小児悪性リンパ腫の1例. 第12回富山眼科集談会, 1985, 5, 富山.

54) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久: 副鼻腔粘液囊腫による視神経障害. 第27回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 1985, 6, 富山.

55) 山田成明, 山下 泉, 中村泰久, 岩井良成, 岡 伸夫: 眼窩内視神経障害を惹起した巨大副鼻腔粘液囊腫の1例. 第23回日本神経眼科学会, 1985, 10, 佐賀.

56) 中山昌子, 氷見由美子, 中村泰久: 内斜視の術後両眼視について. 第13回富山眼科集談会, 1985, 12, 富山.

耳鼻咽喉科学

| | |
|------|------|
| 教授 | 水越鉄理 |
| 助教授 | 渡辺行雄 |
| 講師 | 大橋直樹 |
| 講師 | 小林英人 |
| 助手 | 麻生伸 |
| 助手 | 吉田行夫 |
| 助手 | 大井秀哉 |
| 助手 | 浅井正嗣 |
| 助手 | 稲葉博司 |
| 助手 | 今村純一 |
| 助手 | 長崎孝敏 |
| 文部技官 | 武田精一 |

◆ 著 書

1) 水越鉄理: 突発性難聴. 「今日の治療方針」日野原重明, 他編, 731—732, 医学書院, 1985.

2) Watanabe Y., Ohi H., Sawa M., Ohashi N., Kobayashi H., and Mizukoshi K.: Clinical findings of the galvanic body sway test in cases with vestibular disorders, In Vestibular and Visual Control on Posture and Locomotor Equilibrium, by Igarashi M., Black O. (Ed.), 322—330, Karger Co. Basel, 1985.

3) 福田公子, 将積日出夫: 眼球振盪. 「遺伝性疾患への対応—その知識と実際—」, 大倉興司編,

44—45, 講談社, 1985.

4) 水越鉄理: 中毒性内耳障害「耳鼻咽喉科学」第3版 後藤敏郎監修, 411—416, 医学書院, 1984.
● 原 著

1) Ohashi N., Asai M., Ueda S., Imamura J., Watanabe Y. and Mizukoshi K.: Hazard to endotracheal tubes by CO₂ laserbeam. Experimental report. ORL (Basel) 47: 22—25, 1985.

2) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative measurement of smooth pursuit using a continuously changing sinusoidal wave in normal subjects. ORL (Basel) 47: 49—56, 1985.

3) Mizukoshi K.: Visual vestibular interaction in patients with vertigo. Chinese Med. J. 36: 107, 1985.

4) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H., and Mizukoshi K.: Quantitative measurement of smooth pursuit using the continuously changing sinusoidal wave in neurological patients. ORL (Basel) 47: 314—327, 1985.

5) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H., and Shojaku H.: An epidemiological study of Meniere's disease in Toyama Prefecture. Abstracts of 13th Congress of ORL (Miami Beach), 26, 1985.

6) Kobayashi H., Mizukoshi K., Watanabe Y. and Ohashi N.: Quantitative measurement of visual-vestibular ocular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. Abstracts of 13th Congress of ORL (Miami Beach), 100, 1985.

7) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H., and Mizukoshi K.: Quantitative comparison between saccadic pursuits and ataxic pursuits. Abstracts of 13th Congress of ORL (Miami Beach), 101, 1985.

8) 中川 肇, 芹沢泰博, 石田正人, 野末道彦, 白石輝雄: 聴神経腫瘍の診断上の問題点(6例の非典型例をめぐって). 耳喉 57: 685—690, 1985.

9) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 浅井正嗣, 大村明彦, 今村純一: 視運動性眼振検査の加令現象について. 水俣病に関する総合的研究昭和59年度報告書, 143—145, 1985.

10) 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代: 両側前庭機能高度低下症例の Galvanic Body Sway Test (GBST) の所見, 昭和

59年度前庭機能異常調査研究班報告書, 221—225, 1985.

11) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 浅井正嗣, 大村明彦, 今村純一: 富山県における前庭機能異常例の疫学調査研究. 昭和59年度前庭機能異常調査研究班報告書, 52—60, 1985.

12) 水越鉄理, 中川 肇, 寺蘭公雄: 内耳性めまいに対する心因, 性格, 自律神経の関与について. 昭和59年度前庭機能異常調査研究班報告書, 276—282, 1985.

13) 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 今村純一, 渋谷知子, 水越鉄理: シスプラチンによる内耳障害, 特に前庭機能障害について. 臨床耳科 12: 172—173, 1985.

14) 中川 肇, 水越鉄理, 浅井正嗣, 大橋直樹: 内耳性めまいに対する心因, 性格, 自律神経の関与について. 耳鼻臨床 78: 2661—2667, 1985.

15) 中川 肇, 上田晋介, 稲葉博司, 浅井正嗣, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 井上久美子, 小泉富美朝: 扁桃摘出が奏効した血漿蛋白異常を伴った acute generalized pustular bacteride の一例. 日扁桃誌 78: 30—35, 1985.

16) 渡辺行雄, 麻生 伸, 大井秀哉, 今村純一, 武田精一, 水越鉄理: 聴性誘発反応のマイクロコンピュータ処理. Audiology Japan 28: 277—281, 1985.

17) 麻生 伸, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 浸透圧利尿によるメニエール病患者の蝸电图上の変化について. Audiology Japan 28: 339—340, 1985.

18) 吉田行夫, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: アブミ骨筋反射の域値, 潜時測定. Audiology Japan 28: 629—630, 1985.

19) 大井秀哉, 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 骨導刺激による ABR の記録. Audiology Japan 28: 453—454, 1985.

20) 上田晋介, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 突発性難聴の予後と蝸电图の関係. Audiology Japan 28: 409—410, 1985.

21) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: パソコンによる聴性誘発反応専用処理装置の開発. Audiology Japan 28: 321—322, 1985.

22) 黒川泰資, 斉藤武久, 斉藤 等, 斉藤 章, 麻生 伸: マスキング音の種類による Residual Inhibition の比較. Audiology Japan 28: 557—558, 1985.

23) 渡辺 勲, 水越鉄理, 大久保仁, 渡辺行雄, 池田元久, 石田博義: 個人調査票中間集計ならびに外来初診症例における各種前庭機能異常の比較について. 昭和59年度前庭機能異常調査研究班報告書, 13—14, 1985.

24) 中川 肇, 長崎孝敏, 稲葉博司, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 篩骨洞原発の横紋筋肉腫と思われる一症例. 日鼻科誌 23: 184—185, 1985.

25) 吉田行夫, 沢田克郎, 水越鉄理: 突発性鼻中隔膿瘍の一例. 日鼻科誌 23: 206—207, 1985.

26) 大村明彦, 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 将積日出夫: 髄膜炎を反復した meningo-encephalocoele の一症例. 日鼻科誌 23: 218—219, 1985.

27) 大橋直樹, 大井秀哉, 将積日出夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい疾患における R-R 間隔—マイコンを利用した R-R 間隔測定装置—. Equilibrium Res., 44: 181—186, 1985.

28) 渡辺行雄: メニエール病の疫学症状調査による知見. “シンポジウム (2) メニエール病をめぐる諸問題”. Equilibrium Res. 44: 34—35, 1985.

29) 大橋直樹, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滑動性眼運動分析—ランダム正弦波の開発と再現性の検討—. Equilibrium Res. 44: 275—279, 1985.

30) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 麻生 伸, 今村純一, 長崎孝敏, 渋谷知子, 寺菌公雄, 水越鉄理: 眼球上転速度の予後診断的価値について. Facial N. Res. Jpn. 5: 135—138, 1985.

31) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 浅井正嗣, 大村明彦, 今村純一: 富山県における前庭機能異常例の疫学調査研究. 耳鼻臨床 78: 2451—2459, 1985.

32) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: 両側前庭機能高度低下症例の Galvanic Body Sway Test (GBST) の所見. 耳鼻臨床 78: 2606—2610, 1985.

33) 上田晋介, 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: 副鼻腔の非上皮性悪性腫瘍の当科における治療法とその成績. 頭頸部腫瘍 11: 6, 1985.

34) 中川 肇, 上田晋介, 浅井正嗣, 将積日出夫, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 舌腫瘍に対する YAG レーザーの効果. 頭頸部腫瘍 11: 39, 1985.

35) 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 進行癌 (Stage III, IV) に対する Cisplatin + PEP + Tegafur 療法での治療経験. 頭頸部腫瘍 11: 285, 1985.

36) Ishiguro C., Ohashi K. and Mizukoshi

K.: Dysequilibrium in children with autism or minimal brain dysfunction and its improvement with sensory integration therapy. Brain & Development 17: 165, 1985.

37) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫: 中枢性平衡障害における視覚系と前庭系の相互関係について. 日耳鼻 88: 1307—1308, 1985.

38) 大橋直樹, 中川 肇, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: ランダム正弦波による滑動性眼運動分析. 日耳鼻 88: 1309, 1985.

39) 麻生 伸, 大井秀哉, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理: Isosorbide による蝸電図上の変化について. 日耳鼻 88: 1373, 1985.

40) 渡辺行雄, 大橋直樹, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: カロリックテストと Galvanic Body Sway Test (GBST) の所見が解離する現象について—後迷路性前庭障害の部位別診断の可能性について—. 日耳鼻 88: 1441, 1985.

41) 水越鉄理, 渡辺行雄, 今村純一, 大橋直樹, 坂井孝志: 汎用マイクロコンピュータによる ENG 専用の自動分析システムの開発. 日耳鼻 88: 1451, 1985.

42) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 武田精一: マイコンによるオンライン実時間処理システムとその問題点. 医療情報 5: 413—414, 1985.

43) 渡辺行雄, 大橋直樹, 今村純一, 水越鉄理: 眼振波形分析のアルゴリズム. 医療情報 5: 419—420, 1985.

44) 大橋直樹, 今村純一, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滑動性眼運動分析におけるパラメーターの工夫. 医療情報 5: 421—422, 1985.

45) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: マイコンによる聴性誘発反応専用装置の開発. 医療情報 5: 423—424, 1985.

46) 大村明彦, 麻生 伸, 稲葉博司, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理: 副鼻腔原発と考えられた小細胞癌の1例. 医薬の門 25: Suppl. 16—17, 1985.

47) 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 上田晋介, 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理: 頭頸部領域での進行癌に対する Cisplatin 療法. 医薬の門 25: Suppl. 29—30, 1985.

48) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 松野正知, 佐伯陽子, 鈴木好文, 岡田敏夫, 大橋直樹: 小児期副鼻腔炎の臨床的検討. 小児科診療 48: 1009—1014, 1985.

49) 中川 肇, 今村純一, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: Peplomycin 局注が奏効した高齢者の外

鼻部皮膚癌の一症例。診療手帖 88:26-27, 1985.

◆ その他

1) 水越鉄理: 第43回平衡神経科学会 序. *Equilibrium Res.* 44:1-3, 1985.

2) 水越鉄理: 内リンパ水腫の症状・治療・手術術式(質疑応答). 医事新報 3192, 130-131, 1985.

◆ 学会報告

1) Mizukoshi K.: Visual vestibular interaction in patients with vertigo. The 1985 Congress and Scientific Meeting of the Chinese Medical Association, 1985, 7, Taipei.

2) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H. and Shojaku H.: An epidemiological study of Meniere's disease in Toyama Prefecture. The 13th World Congress of ORL, 1985, 5, Miami Beach, U.S.A.

3) Kobayashi H., Mizukoshi K., Watanabe Y. and Ohashi N.: Quantitative measurement of visual-vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. The 13th World Congress of ORL, 1985, 5, Miami Beach, U.S.A.

4) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative comparison between saccadic pursuits and ataxic pursuits. The 13th World Congress of ORL, 1985, 5, Miami Beach, U.S.A.

5) Watanabe Y., Ino H., Ohashi N., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Clinical evaluation of vestibular-somatosensory interactions using galvanic body sway tests. The 9th Extraordinary Barany Soc. Meeting, 1985, 5, Ann Arbor, U.S.A.

6) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N., Shojaku H. and Watanabe Y.: Quantitative assessment of visual vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with well-defined central nervous system lesions. The 9th Extraordinary Barany Soc. Meeting. 1985, 5, Ann Arbor, U.S.A.

7) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 将積日出夫: 中枢性平衡障害における視覚系と前庭系の相互関係について. 第86回日耳鼻総会, 1985, 5, 仙台.

8) 大橋直樹, 中川 肇, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: ラングムETTによる滑動性眼運動検査.

第86回日耳鼻総会, 1985, 5, 仙台.

9) 麻生 伸, 大井秀哉, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理: Isosorbideによる蝸電図上の変化について. 第86回日耳鼻総会, 1985, 5, 仙台.

10) 水越鉄理, 渡辺行雄, 今村純一, 大橋直樹, 坂井孝志: 汎用マイクロコンピュータによるENG専用の自動分析システムの開発(ビデオ演題). 第86回日耳鼻総会, 1985, 5, 仙台.

11) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: カロリックテストとGalvanic Body Sway Testの結果が解離する現象について. 第86回日耳鼻総会, 1985, 5, 仙台.

12) 長崎孝敏, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 浅井正嗣, 今村純一, 大村明彦, 水越鉄理: 富山県における末梢性前庭機能異常例の疫学的調査(富山医薬大を中心に). 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

13) 大井秀哉, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 沢 昌代, 水越鉄理: 両側性前庭機能高度低下例のGalvanic Body Sway Test (GBST)の異常所見. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

14) 浅井正嗣, 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理: 内耳性めまいに対するCMI, MPI検査. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

15) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理: 汎用マイクロコンピュータを使用したENG検査専用分析機. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

16) 寺園公雄, 吉田行夫, 大村明彦, 水越鉄理, 岡田敏夫: 側頭骨のOssifying fibromaの一例. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

17) 大村明彦, 稲葉博司, 長崎孝敏, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 滲出性中耳炎が疑われた髄液漏を伴った側頭骨骨折の一例. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

18) 上田晋介, 長崎孝敏, 将積日出夫, 稲葉博司, 渡辺行雄: 硬口蓋穿孔を起こした鼻涙管留置カテーセルの一例. 第4回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 3, 富山.

19) 寺園公雄, 中川 肇, 今村純一, 渡辺行雄, 諸橋正昭, 小西可南: 化学療法剤の局注と放射線療法の併用により治癒した鼻尖部扁平上皮癌. 第240回日耳鼻北陸地方連合会, 1985, 6, 金沢.

20) 上田晋介, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 突発性難聴の予後と蝸電図との関係. 第240回日耳鼻北陸地方連合会, 1985, 6, 金沢.

21) 稲葉博司, 大村明彦, 大橋直樹: 鼻甲介, 口

唇粘膜の光電色彩計による測定。第240回日耳鼻北陸地方連合会, 1985, 6, 金沢。

22) 伊東宗治, 渡辺行雄, 麻生 伸, 浅井正嗣, 今村純一, 渋谷知子, 寺園公雄: 顔面神経麻痺における眼球上転速度分析について。第241回日耳鼻北陸地方連合会, 第39回北陸医学会耳鼻科分科会, 1985, 9, 福井。

23) 神田憲一, 大井秀哉, 渡辺行雄, 吉田行夫, 浅井正嗣, 水越鉄理: 先天性脊椎, 骨端骨形成症における喉頭発育形成不全について。第241回日耳鼻北陸地方連合会, 第39回北陸医学会耳鼻科分科会, 1985, 9, 福井。

24) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 神田憲一, 水越鉄理: 重心動揺周波数分析の診断的意義。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

25) 渋谷知子, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 長崎孝敏, 安田健二: メニエール病に対する浸透圧利尿剤負荷試験。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

26) 寺園公雄, 浅井正嗣, 大橋直樹, 浅香充宏: 難治性反復性鼻出血の一症例。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

27) 中川 肇, 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理: Oto-palato-digital Syndrome の一症例。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

28) 大村明彦, 稲葉博司, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 五十嵐隆夫, 村上巧啓: アレルギー性鼻炎に対するユスリカ抗原について。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

29) 吉田行夫, 大村明彦, 上田晋介, 今村純一, 長崎孝敏, 大橋直樹: 球後視神経炎と鼻副鼻腔炎。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

30) 小林英人, 吉田行夫, 渡辺行雄, 水越鉄理, 佐藤 悠, 大本英次郎: 鼻科手術における呼吸障害。第5回日耳鼻富山県地方部会, 1985, 11, 富山。

31) 大井秀哉, 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 骨導刺激によるABR記録。第242回日耳鼻北陸地方連合会, 1985, 12, 金沢。

32) 安田健二, 神田憲一, 伊東宗治, 麻生 伸, 小林英人, 中川 肇, 水越鉄理: 聴神経腫瘍以外的小脳橋角部腫瘍。第242回日耳鼻北陸地方連合会, 1985, 12, 金沢。

33) 将積日出夫, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 浅井正嗣, 大村明彦, 今村純一: 富山県における前庭機能異常例の疫学的検討。第23回日耳鼻中部地方連合会, 1985, 7, 松本。

34) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人,

沢 昌代, 水越鉄理: 両側前庭機能高度低下例のGalvanic Body Sway Test (GBST) 所見。第23回日耳鼻中部地方連合会, 1985, 7, 松本。

35) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 水越鉄理: 両側前庭機能異常症例における後迷路障害の所見。第20回日耳鼻新潟県地方部会, 1985, 6, 新潟。

36) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 水越鉄理: 前庭性眼反射と脊髄反射による後迷路性前庭障害の部位診断。第21回日耳鼻新潟県地方部会, 1985, 12, 新潟。

37) 水越鉄理, 将積日出夫, 浅井正嗣, 長崎孝敏, 伊東宗治, 神田憲一, 安田健二, 渡辺行雄: 富山県における前庭機能異常例の疫学的調査(メニエール病と突発性難聴を中心に)。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

38) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 木下朱美, 水越鉄理: 前庭眼反射と脊髄反射による後迷路性前庭障害の部位診断の可能性について。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

39) 大橋直樹, 小林英人, 渡辺行雄, 水越鉄理: ランダム正弦波の周波数とパラメーターとの関係。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

40) 小林英人, 水越鉄理, 渡辺行雄, 大橋直樹: 振子様回転検査の長期観察所見。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

41) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 中川 肇, 将積日出夫, 水越鉄理: 重心動揺周波数分析の診断的意義について。第43回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

42) 将積日出夫, 水越鉄理, 佐藤 悠, 川崎 匡: 小脳小節, 小脳垂から前庭神経核への帯状投射。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

43) 今村純一, 渡辺行雄, 大橋直樹, 水越鉄理: ENG記録のマイクロコンピュータ分析における問題点。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

44) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 水越鉄理: ランダム視刺激による視運動性眼振の臨床的意義。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

45) 伊東宗治, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 今村純一, 大村明彦, 水越鉄理: 等加速度刺激視運動性眼振検査における線条速度と眼振緩徐相速度の対比。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

46) 神田憲一, 大橋直樹, 将積日出夫, 大井秀哉, 渡辺行雄, 水越鉄理: めまい・平衡障害と心電図R-R間隔。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11,

東京。

47) 木下朱美, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 浅井正嗣, 水越鉄理: 平滑な電流刺激に対する電気性重心動揺反応 (Galvanic Body Sway) の検討。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

48) 中川 肇, 小林英人, 将積日出夫, 浅井正嗣, 渡辺行雄, 水越鉄理: 内耳性めまいの経過, 予後に対する年齢の影響について。第44回日本平衡神経科学会, 1985, 11, 東京。

49) 麻生 伸, 武田精一, 渡辺行雄, 水越鉄理: 浸透圧利尿剤によるメニエール病患者の蝸電図の変化について。第30回オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

50) 吉田行夫, 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: アブミ骨筋反射の域値・潜時測定。第30回日本オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

51) 大井秀哉, 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 骨導刺激によるABR記録。第30回日本オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

52) 上田晋介, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: 突発性難聴の予後と蝸電図の関係。第30回日本オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

53) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄, 水越鉄理: パソコンによる聴性誘発反応専用処理装置の開発。第30回日本オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

54) 黒川泰資, 斉藤武久, 斉藤 等, 斉藤 章, 麻生 伸: マスキング音の種類によるResidual Inhibitionの比較。第30回日本オージオロジー学会, 1985, 9, 岡山。

55) 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 今村純一: 聴性誘発反応(ERA)に対するマイクロコンピュータ処理。水俣病検診促進研究班会議, 1985, 1, 東京。

56) 渡辺行雄, 水越鉄理, 中川 肇, 大村明彦: 視運動性眼振検査の加令現象について。第14回水俣病総合的研究会, 1985, 2, 東京。

57) 水越鉄理, 渡辺行雄, 将積日出夫, 大橋直樹, 中川 肇, 小林英人, 大村明彦, 今村純一, 浅井正嗣: 富山県における前庭機能異常症例の疫学的調査。昭和59年度前庭機能異常調査研究班総会, 1985, 2, 京都。

58) 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 大井秀哉, 沢 昌代, 水越鉄理: 両側前庭機能高度低下症例のGalvanic Body Sway Test (GBST)。昭和59年度前庭機能異常調査研究班総会, 1985, 2, 京都。

59) 中川 肇, 水越鉄理: 末梢性めまいに対する心因, 性格, 自律神経の関与と相関について。昭和

59年度前庭機能異常調査研究班総会, 1985, 2, 京都。

60) 水越鉄理, 将積日出夫, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 浅井正嗣, 大村明彦, 今村純一, 中川 肇: 富山県におけるメニエール病の疫学的特徴。昭和60年度前庭機能異常調査研究班ワークショップ, 1985, 8, 京都。

61) 麻生 伸, 大井秀哉, 上田晋介, 長崎孝敏, 渡辺行雄, 水越鉄理: 当科におけるメニエール病の蝸電図所見。昭和60年度前庭機能異常調査研究班総会, 1985, 8, 京都。

62) 渡辺行雄, 中村 正, 今村純一, 大橋直樹: アナログ情報処理の基礎, 1. マイクロコンピュータにおけるデータサンプリング, 2. 簡単な波形処理, 3. 分析結果の表示法。第2回平衡神経コンピュータ処理研究会, 1985, 11, 東京。

63) 中川 肇, 大村明彦, 渡辺行雄, 水越鉄理: Oto-palato-digital syndromeの一症例。第13回日本臨床耳科学会, 1985, 10, 名古屋。

64) 大村明彦, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理: 髄液漏を伴った側頭骨骨折の一例。第13回日本臨床耳科学会, 1985, 10, 名古屋。

65) 大村明彦, 麻生 伸, 稲葉博司, 吉田行夫, 水越鉄理: 副鼻腔原発と考えられた小細胞癌症例。第4回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1985, 7, 福井。

66) 大橋直樹, 中川 肇, 浅井正嗣, 上田晋介, 渡辺行雄, 水越鉄理: 進行癌(Stage III, IV)に対するCisplatin+PEP+Tegafu 療法による治療経験。第4回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1985, 7, 福井。

67) 浅井正嗣, 大橋直樹, 上田晋介, 中川 肇, 渡辺行雄, 水越鉄理: 平滑筋肉腫に対するシスプラチン療法(上顎洞平滑筋肉腫の全身転移例)。第9回日本頭頸部腫瘍学会, 1985, 4, 東京。

68) 大村明彦, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 今村純一, 水越鉄理: ランダム視刺激による視運動性眼振の臨床的意義。第47回耳鼻臨床学会, 1985, 6, 京都。

69) 浅井正嗣, 渡辺行雄, 大橋直樹, 小林英人, 将積日出夫, 大村明彦, 水越鉄理: 重心動揺の周波数分析の意義について。第47回耳鼻臨床学会, 1985, 6, 京都。

70) 浅井正嗣, 水越鉄理, 渡辺行雄, 麻生 伸, 今村純一, 長崎孝敏, 渋谷知子, 寺蘭公雄: 眼球上転速度分析の予後診断的価値について。第8回日本顔面神経研究会, 1985, 6, 松山。

71) 小泉富美朝, 倉茂洋一, 中川 肇, 渡辺行雄, 鍛冶友昭, 北川和久: 扁桃に出現する多核巨細胞に

ついて、第25回扁桃研究会、1985、10、福岡。

72) 大井秀哉、渡辺行雄、吉田行夫、浅井正嗣、水越鉄理：先天性脊髄、骨端骨形成症2症例における喉頭発育形成不全。第37回日本気管食道科学会、1985、11、福岡。

73) 大村明彦、麻生 伸、稲葉博司、渡辺行雄、水越鉄理、吉田行夫：副鼻腔原発と考えられた小細胞癌の一例。第24回日本鼻科学会、1985、9、秋田。

74) 小林英人、渡辺行雄、水越鉄理：鼻腔タンポンの血液ガスに与える影響。第24回日本鼻科学会、1985、9、秋田。

75) 吉田行夫、大村明彦、小林英人、中川 肇、上田晋介、渡辺行雄、水越鉄理：球後視神経炎症例の検討。第24回日本鼻科学会、1985、9、秋田。

76) 上田晋介、将積日出夫、渡辺行雄、水越鉄理：硬口蓋穿孔を起こした鼻涙管留置カテーテルの一例。第24回日本鼻科学会、1985、9、秋田。

77) 渡辺行雄、大橋直樹、今村純一、沢 昌代、水越鉄理：コンピュータを導入した平衡機能検査の総合的分析システム。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

78) 大橋直樹、武田精一、今村純一、渡辺行雄：smooth pursuitの視標投影装置制御用としてのマイコンの活用。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

79) 今村純一、渡辺行雄、水越鉄理、大橋直樹、沢 昌代：汎用マイクロコンピュータを使用したENG検査専用分析機。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

80) 沢 昌代、木下朱美、渡辺行雄、水越鉄理：オンライン実時間処理による平衡機能検査分析システムの操作性について。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

81) 渡辺行雄、大橋直樹、今村純一、武田精一、水越鉄理：ENG自動分析におけるENG記録や分析の諸条件が分析結果に与える影響について。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

82) 大橋直樹、武田精一、今村純一、渡辺行雄：心電図R-R間隔測定装置の開発。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

83) 武田精一、麻生 伸、今村純一、渡辺行雄、水越鉄理：マイクロコンピュータによる高速処理について（マイコンによるERA専用検査装置の試作）。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

84) 今村純一、渡辺行雄、水越鉄理、大橋直樹、沢 昌代：耳鼻咽喉科領域におけるマイクロコンピ

ュータ導入の問題点。第1回耳鼻咽喉科情報処理研究会、1985、3、東京。

85) 武田精一、麻生 伸、大井秀哉、吉田行夫、渡辺行雄、水越鉄理：マイコンによる聴性誘発反応専用処理装置の開発。第5回日本医療情報学会、1985、11、東京。

86) 今村純一、渡辺行雄、大橋直樹、武田精一：マイコンによるオンライン実時間処理システムとその問題点。第5回日本医療情報学会、1985、11、東京。

87) 渡辺行雄、大橋直樹、今村純一、水越鉄理：眼振波形分析のアルゴリズム。第5回日本医療情報学会、1985、11、東京。

88) 大橋直樹、今村純一、武田精一、渡辺行雄、水越鉄理：滑動性眼運動分析におけるパラメーターの工夫。第5回日本医療情報学会、1985、11、東京。

89) 武田精一、麻生 伸、渡辺行雄、水越鉄理：マイコンによる聴性誘発反応専用処理装置の開発。第5回日本医療情報学会、1985、11、東京。

90) 将積日出夫、佐藤 悠、川崎 匡：前庭神経核へ投射する小脳小節、小脳垂のプルキンエ細胞の帯状構造。第9回日本神経科学学会集、1985、12、東京。

◆ その他

1) 水越鉄理：中枢性めまい・平衡障害への神経耳科のアプローチ。第7回山陽めまい平衡障害懇話会、1985、岡山。

2) 猪 初男、松永 亨、水越鉄理：めまいの治療（鼎談）。第1回耳鼻咽喉科漢方研究会、1985、5、仙台。

3) 水越鉄理：耳の病気とその予防。新湊市保健学級、1985、9、新湊。

4) 水越鉄理、吉本 裕、竹田泰三：取扱に苦慮するめまいについて（難治性めまい、所見の乏しいめまい症例）。第2回平衡神経科学会医師講習会、1985、12、大阪。

5) Mizukoshi, K.: Computer analysis of ENG recordings (Invited Lecture). Meeting of the ORL Department, Veterans General Hospital, 1985, 7, Taipei.